

第9回麻生区区民会議

1 開催日時 平成20年5月29日(木)午後6時~午後6時58分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

飯塚委員、石田委員、上野委員、小川委員、尾中委員、神本委員、佐藤委員、高桑委員、谷川委員、玉蟲委員、西谷委員、平林委員、松本委員、京委員、守田委員、矢野委員

(欠席)笠原委員、菅原委員、田中委員、津田委員

：委員長 ：副委員長

[参与]

雨笠参与、山口参与、山崎参与、相原参与、吉田参与

(欠席)伊藤参与、尾作参与、勝又参与、花輪参与

[事務局]

太田区長、栗原副区長、向坂総務課長、荻原企画課長、宮田企画課主査

4 次 第 (1) 開 会

(2) 報 告

第1期麻生区区民会議報告書について

(3) 閉 会

【配布資料一覧】

「次第」、「委員・参与名簿」、「席次表」

資料1 第1期麻生区区民会議報告書

第9回麻生区区民会議

日 時 平成20年5月29日(木)

午後6時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後6時00分開会

1 開会

西谷委員長 それでは、ただいまより第9回麻生区区民会議を開会いたします。

今回が第9回ということですが、第1期の区民会議の最終回となります。2年間、皆様に助けをいただきながらこの会議を進めさせていただきました。本当にありがとうございました。

きょうは、この2年間の集大成であります報告書を検討していただいて、区長のほうに提出するということをしていただきたいと思います。皆様方にもきょうもう1回、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、議事に入りたいと思います。初めに、この会議は公開となっております。傍聴者はいらっしゃらないので、ここのところを割愛させていただきたいと思ひます。いらっしゃいましたら、事務局のほうで遵守事項をご一読いただき、お守りいただきますようお願いしてください。

2 議題

(1) 第1期麻生区区民会議報告書について

西谷委員長 それでは、議題のほうに移らせていただきます。

(1) 第1期麻生区区民会議報告書についてということで、第1期麻生区区民会議の報告につきましては、事務局のほうからご報告をいただきたいと思ひます。

それでは、事務局、よろしくお願ひいたします。

事務局 (第1期麻生区区民会議報告書について説明)

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま事務局から第1期区民会議報告書についてご報告をいただきました。これにつきまして委員の皆様方、あらかじめ送付されておりましたので、お目通しいただいたものと思ひますが、多分ご自分で関連するところを重点的に目通しいただいたと思ひますが、このことにつきまして何かございましたら、何でも結構でございます。ご意見をいただきたいと思ひますので、よろしくご発言をお願いします。いかがでしょうか。

佐藤委員 一目瞭然のことをお伺ひしたいと思ひます。32ページ、白いままで。55ページの、白いままで。こうされた意図をちょっとお伺ひしたいと思ひます。意地悪ではありません。まじめに聞いています。

事務局 これは例えば8ページを見ていただきたいのですが、前、たしかこの8ページの

図がA4だったのですね。それを真ん中から切りまして2つに分けたんです。そういった図が幾つか入っておりますので、その関係で、こういった図は両面使いますものですから、どうしてもページの偶数、奇数の関係で、こういった白い部分が出てしまうのです。イラストか何か入れましょうか。

佐藤委員 それまで要らないと思いますが。例えば32ページは34、35が両開きでワンセットにしなければならないので、33ページをそんな形にして、結果的に32はあいたと理解したのですが。

事務局 そうです。

佐藤委員 それから、資料編の裏はどうでしょうか。こういう形も間々見受けますけれども。

事務局 これは色紙を使おうかなと思っていて、ここに差し込んで、違う色のやつをやろうと思っています。

佐藤委員 よくわかりました。ありがとうございました。

西谷委員長 ほかにございませんでしょうか。先ほどの白いところに何か入れる案でも、こういう区民会議であったことを入れたらどうだろうか。ほとんどの資料をこの中に入れてしまったのですよね。ですから、漏れている資料でもあればそういうところに挿入してもいいと思いますが、気がついた方がいらっしゃれば、せいぜい二、三日じゅうですか、1日ぐらい。

事務局 できればあしたいっぱいぐらいに。

西谷委員長 というのが一応限度だそうです。リミットで印刷に入ってしまうので、訂正があればそれまでということになっておりますので。

ほかにございませんでしょうか。

それでは、一応これで報告書については決定していきたいと思います。ありがとうございました。2年間で何とかここまでこぎ着けることができました。すばらしい報告書ができましたし、表紙もカラーになって、少しきれいな形になるということです。こんな感じになるそうです。まだ色がありませんので、本印刷になりますと、もう少しきれいになって上がってくるということが考えられますので、楽しみにしていただきたいと思います。

(2) 第1期区民会議についての意見・感想等

西谷委員長 それでは、区民会議では1期2年間ということで、「心が響きあう地域づくり」を課題テーマとして、第1の事例として「こどもの見守り」、第2の事例として「地元農産物と地域の交流」、第3の事例として高齢者を取り上げ、審議、調査を重ねてまいりました。また、2月23日には区民フォーラムを開催しまして、150人に及ぶ参加をいただきました。これも委員の皆様方のお骨折りと本当に感謝しております。こ

れが第1期麻生区区民会議の最終回となります。麻生区区民会議委員として2年間を振り返りまして、ご意見とかご感想を皆様方から一言ずつで結構ですが、いただきたいと思っておりますので、飯塚委員のほうから時計回りでお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

飯塚委員 私は昨年、中島会長の後を継いでことしでまだ1年です。いろいろ送っていただいた内容を見ましたけれども、各小委員会、農と高ですか、よくまとめられて立派なものできたなというふうには思っております。我々、町会といたしましても、夜7時からこの会合というのは、町会は全然ありませんので、これを皆さんよくやられてきたなというふうに驚いているところであります。

以上でございます。

西谷委員長 ありがとうございます。特に飯塚委員、途中で交代ということで、大変だったと思いましたが、町会には全面的にご協力いただきましたことをありがとうございます。

上野委員。

上野委員 私は企画部会と高齢者の専門部会、フォーラムの実行委員のメンバーの一人として参画したわけなんですけれども、大変喧々譁々とやらせていただきまして、昔の青春がよみがえったと言うのはオーバーかもしれませんが、そんな感じをしながらこの会合に参画できたということをお大変ありがたく思っております。

第1期におきましては、やり残した部分があるというふうに反省をしておるわけなんです、第2期の委員の方々には、その第1期の経験というか、実績というか、そういうものをご参考にされて、さらに住みよい麻生区のためにご活躍をいただきたいと思っております。

以上です。

西谷委員長 次、小川委員、お願いします。

小川委員 私は区政委員会のおときから初期のほうからずっとやらせていただきまして、区民会議になりまして、また参加させていただきました。私は2年前に百合丘を去りまして、今自宅のほうで学校関係の仕事をやっているのです。おりるということだったので、今日までやらせていただきました。皆さんの温かいお心で何とか導いていただきまして、本当に感謝しております。また、できることがありましたらまた協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。ありがとうございました。

西谷委員長 次、尾中委員、お願いします。

尾中委員 私は農の部会長というのをやらせていただいて、随分すごいことやるんだなと、この感想の中にも、随分回数を重ねてあったというのですが、前回の区民会議の後からきょうまで間があって、部会がなくて、随分時間があるな、そんな印象を受け

まして、それくらい毎月やっていたので、すごかったなと改めて振り返って感じています。

私はこちらのほうに参加させていただいて、地域の中にいろいろな団体があったりとか、活動をされている方がいらっしゃるということがわかったのがすごく収穫でした。多分私のようなのが一般の多くの方だと思うのですね。どんな方が活躍されているかわからない。ですから、区民会議を初めいろいろな団体の方が頑張られているというのをもっとPRしていくことを自分自身もしていきたいし、もっとそういうことが広がっていけばいいなというふうに感じました。

いろいろありがとうございました。

西谷委員長 尾中委員は部会長として本当にありがとうございました。

神本委員、お願いします。

神本委員 私も企画部会と農の専門部会とフォーラムのほうと担当させていただきました。長いようで短かった2年間だと思っております。夢中でこの2年間走ってまいりました。やり残したことがあったというふうな気持ちがございます。20人の方々と知り合えたことは大変よかったと思っております。有意義な2年間でした。感謝しております。ありがとうございます。

西谷委員長 佐藤委員、お願いします。

佐藤委員 はからずも斉藤前々区長さんからご推薦をいただいて、区民会議委員として末席を汚させていただきました。私も企画部会と高齢者専門部会とフォーラム実行委員会という格好の中で仕事をさせていただきました。一区民としてまた角度を変えたところからということで大変勉強させていただきました。ありがたかったと思っております。区内の変化の事情だとか、あるいは区民の方々の思いや願いといったようなもの、大方のことは大体つかめていたような気でしたが、実はこの仕事に携わってみて、それは大変な妄想で、実はさっぱりわかっていなかったということを心にしみじみと感じさせていただきました。これからはもっと神妙に生きなきゃいけないという思いに駆られております。区民会議のますますのご発展を祈念いたしております。ご交誼をいただき、ご指導たまわった皆さん方に心から御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

西谷委員長 高桑委員、お願いします。

高桑委員 私も2年前に区長推薦ということで参加させていただきました。そのとき、2年前でございますけれども、世の中がそれから大分変わったなという感じがいたします。特に私たち農の専門部会をやらせていただきましたけれども、そのころと比べまして、食に対する関心ですとか、そういったものがかなり違ってきたなという感じがいたします。麻生区の場合には、農に親しむ機会がほかの区よりも多いということもありましたので、こういったテーマをつくらせていただきましたけれども、まず、私

も感じました、ありがたいなと思いましたが、今まで学校農園ですとか、そういったところにアンケートをしたり、皆さんの意見を聞くなんていうことはなかなかなかったんですけども、それはすごく参考になりました。また、我々JAの事業、農業を守るということがありますので、それらに大いに参考になってくるのではないかなと思います。

それから、いま1点は、先ほどもお話ししましたように、食に対する安全安心が叫ばれて、特にギョーザ事件あたりから、がらっと風向きが変わった中で、この会議の中でも私もお話をさせていただきましたけれども、直売所等の関係につきまして、セレスモスの宣伝を大分させていただきました。おかげさまで4月26日に開店いたしました、委員長の先生にもおいでいただいたんですけども、今のところは順調に皆さんに来ていただいていますし、農家の方が出荷をいただいております。ちなみに人数の関係はともかくとしまして、出荷物につきましては、市内産の野菜につきましては約90%、ほぼ9割の人たちが出していただいておりますね。ですから、もう少し仕入れとかそういうものが多くならざるを得ないのではないかなと思いましたが、市内産のものが皆さんの食卓に上がっている、しかも、新鮮なものが供給できているということは非常にありがたいと思いますし、お互いに消費者も生産者もいいんじゃないかなと感じました。それらのPRをこの席をおかりしましても大分させていただきましたし、皆さん方にも温かい目で見てくださいました。いろいろ問題点はあるかなと思いますけれども、それにつきまして私たちの意見をお話を聞いていただきましたことを感謝申し上げたいと思います。

それから、最後に、私も1年たちまして、担当といいますが、役職が変わりまして、それから余り出てこれなくなりましたので、その辺をおわび申し上げたいと思います。ありがとうございました。

西谷委員長 谷川委員、お願いします。

谷川委員 2年間本当にありがとうございました。私は公募委員という形で参加させていただきました。期の途中から守田委員のお手伝いで広報担当ということと、あとは高齢者部会のほうを担当させていただきました。その中で一番感じているのは、それまで自分自身では、区の中の部分的なところしか見ていなかったというのをとても感じまして、特に広報をさせていただいて、区全体という視点で見ることの大切さというか、そういうことを学んだ気がしております。また、高齢者部会では、ほとんど自分とは余りかわりの少なかった分野での活動ですとか、あとは聞き取りで老人いこいの家を訪問させていただいたという経験がありまして、それまでの自分にはできなかったような経験をたくさんさせていただきまして、本当に勉強させていただいた2年だったと思っています。これを今後何かの形でどこかで役に立てていけたらいいなと思っています。本当にありがとうございました。

西谷委員長 玉蟲委員、お願いします。

玉蟲委員 2年、麻生区区民会議のメンバーになって、皆さん、ありがとうございます。

私は何も役に立つことはできませんでしたが、そんな区民会議みたいなグループがあるのはとてもいいことだと思います。みんなの住んでいる声を聞いて出せるのは、それはとてもいいことです。だから、もっとそのまま続けば、いろいろなことができるのだったら、本当に素晴らしいことだと思います。皆さん、2年間本当にありがとうございます。

西谷委員長 平林委員、お願いします。

平林委員 団体からということで出てきたのですけれども、いろいろ忙しいことがあって、ろくに出席して仕事もできなかったのではないかと思って、大変申しわけなく思っております。

これで2年間で終わりなのですけれども、やっぱり継続は力なりと言いますから、この第1期の成果をできるだけ次の期に継続していくようなことを皆さんで考えていくべきだなというふうに思いました。

以上です。

西谷委員長 松本委員、お願いします。

松本委員 皆さん、お疲れさまでした。農を通しての地域づくりに携わって活動してきました。個人的にはいろいろ気づきもあり、いい勉強になったなと思っておりますし、皆さんと知り合えて本当によかったというふうに思っております。

実は今年度から、川崎市の都市型コミュニティを検討するというメンバーに入りまして、今度、川崎市で、ここでやったテーマをもっと大きな形で取り組むような活動をするようになりました。この2年間の地域づくりについて考えてきたことがうまく生かされればいいなというのと、もっと勉強したいなというふうに思っております。

コミュニティづくりというのは結局またここへ戻ってくるのだというふうに私は思っております。今後とも皆さんにいろいろとご協力、ご指導いただくことになると思いますが、よろしく願いいたします。

以上です。

西谷委員長 次、守田委員、お願いします。

守田委員 私は企画部会の主に広報を担当させていただきました。途中から谷川委員が入ってくださいまして、本当に肩の荷がおりたように気が楽になりまして、大変お力のある谷川委員にかなりお願いしてしまったところがございましたが、やはり広報を担当したということと、それから、区民会議そのものが暗中模索というか、どうしていいかということ、みんなそういうものを抱えながら、でも、何とかやっていきたいと思います。そういう2年間だったかなと思っております。

後半、高齢者の専門部会の皆さんが、それこそ、フェース・ツー・フェースでアン

ケートをおとりになって。私の友人などがアンケートの対象として受けた人たちが何人かおりました。それで、彼らは実は区民会議の批判をしていた人たちだったのですが、アンケートを受けたことで、区民会議も汗をかいているねと、だんだんわかってきたから、とにかく少し自分たちは見守っていきたい。批判するのは簡単だけれども、そうやって頑張っているということがわかったので、これから少し応援していくこともあるかもしれないという、そういうコメントをいただいております。ですから、何か動いていかないとやはり一般の区民の皆さんにはなかなかわかりにくかったのではないかと。私たちですらわかりにくかったのですから、区民の皆さんにはなかなかわからなかったかなと思っております。

それから、地域づくりというのが抽象的だとか、何となくあいまいだとかというご意見もかなりございましたけれども、どんな分野のテーマ、例えば農にしても、高齢者にしても、それを活動に携わっているときに、常に地域づくりということに私たちは帰っていったと思っております。そういう地域づくりと例えば高齢者問題と行ったり来たりしながら、その地域づくりというのがだんだん定着していくのかなと、私はそう考えておまして、決してマイナスの評価はしておりません。これからも地域づくりが一番大切であると思っております。そういう意味で、松本委員がおっしゃった、今度は都市型コミュニティですか、そちらでぜひ松本委員には、第1期区民会議の成果を生かしていただきたいなと思っております。

それから、もう1つ、今期はお若い委員さんが少なからず参加して下さったというのが、個人的には私はとてもうれしいことだったんです。尾中さんにしろ、松本さんにしろ、谷川さんにしろ、きょうご欠席ですが、津田さんにしろ、非常に若い世代の方たちが、次世代を担っていらっしゃる方たちがご参加くださったというのが、私は1期の収穫かなと思っております。そういう皆さん方が区民会議を離れても、地域づくりにどういう形で今後かかわっていらっしゃるのかなというのを楽しみにしておりますし、何らかの形でつながっていければ大変ありがたいなと思っております。

いろいろと本当にありがとうございました。

西谷委員長 矢野委員、お願いします。

矢野委員 最後になりますと、皆様のご意見やご感想が素晴らしいご意見やご感想で、何を言ってもいいかわからないほど、皆様がおっしゃってくださいましたので、言葉がなくなりました。私は高齢者専門部会のほうで活動させていただきましたけれども、ただ、いまだに残念に思えたのは、高齢者専門部会の立ち上がりが遅かったということです。そして、上野委員がおっしゃいましたように、この高齢者専門部会でやり残した課題があったような気がして、いまだにすっきりしないものが心に残っております。

私も日常、高齢者の方々とおつき合いをしておりますけれども、心と心のつながり

というのが、高齢者に限らずですが、一番大事ではないかと思えます。それで、今回アンケートをとらせていただいたりしたときでも、高齢者の方々とぜひ心を開いてアンケートをとりながらお話をさせていただきました。それがとても楽しかったというのが印象に残っております。もう1度こういう機会がありましたら、地域の方々とじかにお話をして、何かを得られるようなそういうお仕事をしてみたいなという気がいたしました。本当に2年間お世話になりました。ありがとうございました。

西谷委員長 京委員、お願いします。

京副委員長 私は2年前、文化協会の会長を無理やり押しつけられて、その上に区民会議ということで、そんなような代表で送り出されてきました。年4回、2年間で8回出ればいいよ、そんなようなことを言われて出てきましたら、各部会、あるいは専門部会で高齢者の部会に属したり、それはそれは大変忙しい慌ただし2年間でありました。私にとっては頭の中がパニックになりそうな、あるいはそれ以上受け入れられないような、そんなようなときもありました。多文化共生という言葉がありますけれども、まさにこの20人の委員は、私にとっては多文化であったような感じがいたしまして、一人一人がみんな違う文化を持ってここに集まって、それぞれ発言をされて、1つの形にしていこうという、そんなようなことが見受けられました。その異質な文化を取りまとめていただいて、委員長以下、それぞれの委員の皆さん方の努力の成果がこの報告書の中に出ているんだろうという、そんな感じがいたします。

私は高齢者部会で、これまで仕事の中で培ってきたアンケートのとり方とか、集計の仕方とか、そんなようなことが少しは高齢者部会でアンケートづくりにお役に立てたのかなという、そんなような感じもいたします。今、矢野委員が言われたように、それが後まで掘り起こしができなくて心残りがあると言われましたが、高齢者部会にかかわった人たちもその思いは同じだろうという感じがいたします。ただ、今、この高齢者部会の中で、まとめの中に、後期高齢者という言葉を使っておりますが、社会全般では非常に評判の悪い表現になっておりますけれども、これをこのまま使っていないのかなんて今個人的には不安に思っております。2年間の気持ちを私は一応あとがきにまとめさせていただきました。感謝をしながら2年間、皆さんにお礼を言いたいと思っております。ありがとうございました。

西谷委員長 石田委員、お願いします。

石田副委員長 区民会議、2年間、地域の課題は地域で解決という目的の区民会議だったわけですが、いろいろなと勉強になりました。皆様方もそのようであったようですけれども、いろいろな人が集まってきましたが、それでも1つの目的は、よりよい麻生区をつくっていこうじゃないか、そのために知恵を出そう、汗を流そうという目的の会議だったということに理解しています。いろいろな事例を見せていただく中で、やっぱり地域の課題というものを解決する一番の担い手は問題をよくわかってい

るし、困っているし、解決すれば一番自分の役に立つという人たち、要するに地域の住民だと思っんです。問題を抱えている住民の方、それがやっぱり中心になり、主役になり、主体になって動くということが問題解決には一番力があって、効果があるのではないかということを変更して2年たった今感じているところです。

そういった住民の力というものを引っ張り出すということが、これから区民会議でやっていく、これまでもやってきたのですが、これからも住民の力を引っ張り出すということに苦労されるだろうと思うし、やはりそれはしなければならぬと思っます。そういった中で、住民に一番近いというか、住民をまとめているのは、ここに飯塚さんおられますけれども、自治会、町会かなと思っます。もちろん組織率100%ではないですけれども、やはり住民が考えている、住民が何を望んでいるのかを把握する、先ほど来話にあった、いろいろなところで区民会議もアンケートをやってきました。それによってその対象者が何を考えているか、そのアンケートをした側としてみればそういうことだったのかなという意外な点も出てきたということは、やはりそれを知らないままでもって住民の問題というものを解決しようとしても、どこかギャップができてしまうのかな、そういった意味では、困っているというか、問題を抱えている真の姿というものを、アンケートなどの手段を通じてもっともっと吸収していく、そういったことにはやはり自治会、町会というものが一番力になるんだろうなと、こう改めて思っている次第です。今後の区民会議というものは、これまで以上に自治会、町会との連携といいですか、こういったものを念仏じゃなくて具体的に役割を分担しながら、力を合わせながら進めていくことで、区民会議の目的としている地域の課題は地域で解決するということにつながり、それが今望まれている地域づくり、コミュニティづくりというものに必ずやつながっていくものではないか、こう思っっております。

以上です。ありがとうございました。

西谷委員長 ありがとうございます。本当に皆様、2年間お疲れさまでした。私も何とかここまでできましたのも、皆様のおかげと本当に感謝しております。20名の委員がみんなで力を合わせてここまでつくり上げてきた。第1期だったものですから、最初は非常に戸惑いもあり、皆様方も同じだと思いますが、区民会議とは、それから、何をするとところかというところあたりから議論が始まり、1つずつ積み重ねてやってまいりました。それで、発足がちょっとおくれたしまった、課題に入っていくのがおくれたしまったために、先ほどからも話が出ていますように、積み残しのような感がある。まだまだやっていかななくてはいけないことが中途半端で終わってしまったのではないかとご意見がございませうな事態になってしまいました。ですが、この1つの糸口ができたことが、次の区民会議へ引き継ぐことができるものとしては大切なのではないかと思っます。皆様方の思いが次期にぜひ反映されるようにと願っ

おります。そのための報告書でもありますので、大変いい報告書ができたと思っております。これは皆さん方の毎日の活動の中からつくり上げたものをまとめたものですので、これが次期への申し送りともなりますし、それから、区のほうへ提出できる資料ということにもなります。本当にありがとうございました。

～ 参与助言～

西谷委員長 次に、参与の方々から、この区民会議に対するご意見とかご助言がございましたらお願いしたいと思えます。

雨笠参与のほうからお願いいたします。

雨笠参与 突然のご指名なのですけれども、私は実はこの1年間、大変忙しくて、ほとんど出ることができなくて、まことに申しわけないと思っておりますが、他の区によっては、直近の課題や積年の課題をテーマとして取り上げて、課題解決に向かったところもありますけれども、私はむしろそういう意味では、先例のない形の中で、いろいろな方たちがいろいろな問題を抱えて、率直にこの同じ地域社会で生きているんだということを再確認しながら、いろいろななかかわり合いがあってこの地域が成り立っているということを含めて議論をしてこられた、この区民会議の進め方というのは非常に大切なのではないかと考えています。むしろ直近の課題で、そのことについての課題解決の議論をするのは簡単なのですが、しかし、それでは、その後、また嘗々と地域の課題を探り続けなければいけない。それよりもむしろ、ここのところは一たんきちっとした先例のない中で形をつくり上げるといいでしょうか、麻生区ならではの麻生区民会議を行っていくことについて、本当に皆さん方がご努力をされたなということをつくづく思いました。議会でも先例がなければなかなか議論ができないということを私自身も痛感しておりますので、次に向けての心よりの期待を申し上げたいと思えますし、個人的には、麻生区内の皆さん方が区民会議についてどういうふうな考え方を持っているかというアンケートの調査もいたしましたので、できればそういうことも皆さん方にこれから機会があればまたお示しをして、1つの糧としていただければと思っております。どうも本当にご苦労さまでございました。

西谷委員長 ありがとうございました。次、山口参与、お願いします。

山口参与 皆さん、2年間本当にお疲れさまでした。私は実は議員になる前からたびたび傍聴もさせていただいたり、ここの参与の席にはずっと座らせていただいて、伺っております。本当に皆様のご熱心に討論なさっていらっしゃる、そして、各部会でこの時間以外にもいろいろなところで活動なさっているというところで、本当に皆様の力があって、これが成り立ってよかったなと思っております。

麻生区というのはもちろん皆さんご存じのとおり北部にあって、南部が求めているものと北部で求められているもの、課題や問題が、同じものももちろんありますけれ

ども、違ったものがたくさんある中で、やはり麻生区は麻生区で解決していきたいものがあるという中で、皆様が課題を出し合ってやってこれたこと、本当によかったと思いますし、私も地域のコミュニティというものが今本当に問われているときだと思っているのです。それでやはりそういったものを充実させていくために、いろいろな切り口でやっていくということが今望まれている。特に麻生区は専業主婦が多い、そしてまたいろいろな在宅の支援サービスを受けられている高齢者の方がとても多いという地域の中で、この取り組みをやられたことを、そして、こうやってまとめられたものを参考にさせていただきたいと思っております。

いろいろな切り口というところで、大きな企業で働いていた男性がこれから退職なされて地域に戻ってくるというような、そういったものも地域の資源として活用していったりとか、学校とか、公共の施設だけではなくて、空き店舗とか空き家とか、そういうところもまた利用して、そうやって違った目でこの麻生区内の施設というか、資源をうまく利用していくということ、そして今、環境の問題もとても地球温暖化対策などが叫ばれている中で、これから環境の問題とか、そういった切り口で地域で自分が何ができるのかなというところもできたらいいなと私は思っております。

皆様、これからも引き続き見守って、ご助言とかご指導をいただけたらと思います。よろしくお願いたします。お疲れさまでした。

西谷委員長 ありがとうございます。山崎参与、お願いします。

山崎参与 第1期ということで、本当にご苦労があったのかなというふうに思っておりますけれども、お疲れさまでございました。それぞれの団体の皆様、そしてまた公募の方、世代的には非常に幅広い世代の方々がこの区民会議という場で、区のためにご議論をいただいて、報告書という形でおまとめをいただきましたことは、この麻生区にとっても有意義な機会であったと思っておりますし、私自身も大変にうれしく思っております。ここで20名の委員の皆様が1つの場にそろったということも1つのご縁であろうかと思っておりますので、これをまた機会に、より相互の親睦を深めていただいて、それぞれのお立場でこの麻生区のためにご貢献をいただきたい、そんなお願いを申し上げて、ごあいさつにかえさせていただきます。お疲れさまでございました。

西谷委員長 ありがとうございます。相原参与、お願いします。

相原参与 まことにご苦労さまでございます。きょうは最初から参加させていただいたんですが、たまたま本日は特段の議論がなかったということで、きょう自体のことについてはコメントは特にないのですけれども、本日いただいた報告書を私もしっかり読ませていただきたいと思っております。こういった会議での結果報告書というのは、私も時間がある限りすべて目を通してはいるつもりでございますが、往々にして事務局がつくった文書なのかなというような報告書が多いのですけれども、この区民会議で出された報告書はまたそういうのとは違った、一味違うものを期待して、今晚しっかり読ま

させていただきたいと思います。この任期中、本当に皆様お疲れさまでございました。ありがとうございました。

西谷委員長 ありがとうございます。吉田参与、お願いします。

吉田参与 2年間、本当にご苦労さまでございました。私自身も参与というお役をいただきながらも、なかなか区民会議の日程が議会の日程に絡むと、同じ日になるということが多かったもので、出席ができずに、申しわけなくも思っておりますし、今、本日もこうしてまとめられた報告書を拝見させていただくと、そうした議論を直接に伺うことができなかつたのを本当に残念でならないなという思いもいたしております。こちらの報告書の中にあります意見や感想、また、委員の皆様のご感想というのがありましたけれども、何の手本もない中で、指標になるものもない中での試行錯誤の中での議論のスタート、そして、策定報告書の取りまとめということであったと思うのですが、そうした手本がないがゆえの苦労もあったかと思うのですが、その反面で、そういうのが変な縛りというか、先例というような縛りがないがゆえの自由な議論というのも、恐らくこの区民会議の中で存分になされたのではないかなと思っております。こうした第1期のメンバーの皆さんの2年間のそうした苦労も、これはしっかりとしたベースとしてこの2期以降に生かされるように、私自身もこの区民会議のさらなる発展を強く期待させていただきたいと思います。

以上です。

西谷委員長 ありがとうございます。

参与の皆様方にはお忙しいところ本当にありがとうございました。今後ともまた区民会議に対してご助言、ご意見、お願いいたしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(3)「第1期麻生区区民会議報告書」の提出

西谷委員長 続きまして、麻生区区民会議から太田区長へ、「第1期麻生区区民会議報告書」を提出したいと思います。よろしくお願ひいたします。

〔拍手〕

区長 内容は私は一通り目を通しました。別に検閲したわけでも何でもございませんけれども、一応読ませていただきました。実はこの3大テーマですが、それぞれに非常に大きなテーマでございまして、皆さんの発言の中にも、しり切れトンボとか、中途半端にという話がありましたが、これは何年やっても多分中途半端に終わるといふふうに思います。それくらい大きなテーマで、地域コミュニティづくりも常に途上のものだというふうに思っています。満足できるレベルに達するということはないでしょうし、それから、高齢者が輝く地域づくりというのも、全く輝き切ったということはないというふうに思います。どこまで近づけるかということでございまして、1つ気に

なったのは、これをだれがやっていくのかということが今回の第1期目の中には詳しくは触れられていなかった。これは区と区民と一緒にやっていくことだろうと思いますので、私どものほうでも少し知恵を絞らせていただいて、実は飯塚会長のほうとも第1個目のテーマについては話し合っておりますし、ひょっとしたら農の話も、例えば市民の会の皆さんとか、その辺と話し合いながら、こういうものをより深めて、手をつけていきたいというふうに思っております。

くれぐれもお約束しますが、これをそのまま棚の上に置いておくということはいたしませんので、これはお誓い申し上げます。

それから、私はこれで区民会議の中で声を発するのは2度目でございます、最初は昨年4月1日に来まして、着任のあいさつということでした。今やっと2回目ということで、実は2期目から、ぜひこの辺のテーブルに入れさせていただいて、今で言うと佐藤委員のあたりの席で、何か意見があったりすれば発言させていただければというふうに思っております。その辺は区民会議の皆さんで議論させていただいて、それでよろしければ。なるべく進行の邪魔はしないようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。(拍手)

3 その他

西谷委員長 ありがとうございます。とても力強いお言葉をいただきまして、第2期が非常に楽しみに考えられます。何とかこれが実現して、確かにこういうテーマは終わることはありません。地域づくりというのはこれでいいということはありませんので、今回皆さんがちょっと物足りないと思われるかもしれませんが、これが1つの突破口になってきているということでは、非常に功績があったのではないかとこのように私は思っております。今後、第2期、第3期と続いていくと思いますので、また次はもっと若い方々が出てきてくださるということも考えられます。どんどん私たちは上に上がっていくわけですから、もっと下の方も入れながらやっていく。それで初めて地域、高齢者も中高年も青年の若者もいるという会議であると大変望ましいかなというふうに私は思っております。

皆さんがこうやって集まって議論してくださって、私も非常に勉強になりました。今まで区には30年も住んでいたのですが、区で生活していたのかなと、非常に疑問に思いました。この会議を始めてから、私も初めて自分を振り返る機会ができて、大変よかったと思っております。やはり仕事人間であって、それから、あいているときは川崎市の仕事のほうが多かったので、もっと地についた活動がということが、私の原点ではないかというふうに思いました。子育てをしたところにやはり地域活動していたことがありますので、そこに何か立ち返ったような気がいたしました。本当にありが

ありがとうございました。

4 閉会

西谷委員長 これで全部議事が終了いたしました。議事の進行へのご協力ありがとうございました。

これで第9回麻生区区民会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。
(拍手)

午後6時58分閉会